

能の魅力を知る

セルリアンタワー 能楽堂

異季の花々

二〇二一年

六月十九日(土)

午後二時開演(午後一時三十分開場)

解説

金子 直樹

狂言 萩大名

山本泰太郎

能 弱法師

友枝 雄人

二〇二一年

十月二十二日(金)

午後七時開演(午後六時三十分開場)

解説

金子 直樹

能 小

塩

友枝 雄人

CERULEAN TOWER

能楽堂

NOH THEATRE

能の魅力を知る 異季の花々

能には季節を表現する作品が多くあり、舞台上演される作品と実際の季節が重なり、四季と能を楽しむ事ができますが、敢えて実際の季節と違う作品を上演し、異なる季節に春の花景色や秋の涼やかさを想像し、風の香りを思い起こしていただきたい企画です。初夏の6月には、萩の花が見事な庭を訪れ、庭の主に和歌を所望され四苦八苦する大名と太郎冠者のやり取りが楽しい狂言「萩大名」と、梅の花が咲く頃、高安通俊がある事情で追放した一子俊徳丸の二世安楽を祈って施行を行う天王寺で、弱法師とよばれる盲目の乞食となった俊徳丸と再会する能「弱法師」を上演、10月には、桜の名所に現れた老人が、満開の桜を眺めながら在原業平の詠んだ歌の意を読み、やがて夜になると在原業平の霊が現れ、二条の后との儂い恋を思い返して歌を詠い、舞を舞い、月夜の花見を催す能「小塩」を上演いたします。

■2021年6月19日(土)午後2時開演 — 弱法師 —

狂言 萩大名
金子 直樹
大名 山本泰太郎
太郎冠者 山本凜太郎
亭主 山本 則孝

能 弱法師
俊徳丸 友枝 雄人
高安通俊 宝生 欣哉
後見 山本 則孝

大鼓 大倉慶乃助
小鼓 成田 達志
笛 藤田 貴寛

中村 邦生
友枝雄太郎
地謡 佐藤 陽
友枝 真也
内田 成信
佐藤 寛泰
金子敬一郎
大村 邦生
香川 靖嗣
長島 茂

(終演予定 午後4時20分)

■2021年10月22日(金)午後7時開演 — 小塩 —

解説 金子 直樹

能 小塩
在原業平 友枝 雄人
老人

花見の者 大日方 寛
同行の者 梅村 昌功
同行の者 御厨 誠吾
大鼓 亀井 洋佑
小鼓 成田 達志
太鼓 小寺真佐人
竹市 学

里人 山本 則孝
後見 狩野 了一
佐藤 寛泰
地謡 谷 友矩
大島 輝久
佐々木多門
内田 成信
中村 邦生
大村 邦生
金子敬一郎

(終演予定 午後9時10分)

◎萩大名(はぎだいみょう)
長らく在京している田舎大名が、太郎冠者の案内である庭園に萩の花見に出かけます。即興で和歌を所望された場合を予想して、太郎冠者が聞き覚えの一首「七重八重九重こそ思ひしに十重咲き出づる萩の花かな」を教えますが、大名には覚えられません。そこで、太郎冠者が一句一句物になぞらえ、その場で密かに合図を送ることに決めておきます。いざ庭園に着くと、大名はまず庭の景観を褒めますが、

を触れさせます。一方、俊徳丸は悲しみのあまり盲目となり、弱法師とよばれる乞食となっており、杖をたどり天王寺へやってきました。彼は袖に散りかかる梅の花に心を留め、仏の慈悲を讃え、天王寺建立の縁起を物語ります。その姿を見るときまさしく我が子だが、通俊は人目をはばかり、夜にならぬ名乗ることにし、弱法師に日想観を拜むようにと勧めます。弱法師は入目を拝み、難波の美景を心に思い浮かべ、心眼に映える光景に恍惚となり興奮のあまり狂いますが、往來の人に引き当たり狂いから覚めます。物を見るのは心で見るとから不自由は無いと達観はしても、やはり現実の生活はみじめに感じます。やがて夜が更けて父は名乗りかけ、俊徳丸は我が身を恥じて逃げようとしませんが父はその手を取り、二人連れ立って高安の里へ帰って行きます。

◎小塩(おしお)
大原野、小塩山一帶の桜の名所に花見に来た人々の前に、桜の枝を持った老人が現れ、会話の風流さに連れ立って花見を楽しみます。老人は二条后(藤原高子)の大原野神社参詣に供捧した在原業平が詠んだ「大原や小塩の山も今日こそは、神代の事も思ひ出づらぬ」と言う歌のいわれを教えながら姿を消します。(中入)里人が大原野の明神の由来と二条后の行啓を語り、やがて花見車が現れ、中から業平が歌を歌いかけ、月夜の花見を始めます。業平は昔の恋を未だに忘れられないのだと数々の恋の歌と恋模様を語り、優雅に舞を舞い、人々がまどろむ間にいつしか消え失せます。

◎弱法師(じやくほし)
河内国高安の里の左衛門尉通俊は、さる人の讒言を信じ、一子俊徳丸を追放しますが、すぐに偽りだと判り、不憫に思い息子の二世安楽を祈って天王寺で施行を行ない、今日はその最後の日なので従者に最後の施行を引かせる旨

を触れさせます。一方、俊徳丸は悲しみのあまり盲目となり、弱法師とよばれる乞食となっており、杖をたどり天王寺へやってきました。彼は袖に散りかかる梅の花に心を留め、仏の慈悲を讃え、天王寺建立の縁起を物語ります。その姿を見るときまさしく我が子だが、通俊は人目をはばかり、夜にならぬ名乗ることにし、弱法師に日想観を拜むようにと勧めます。弱法師は入目を拝み、難波の美景を心に思い浮かべ、心眼に映える光景に恍惚となり興奮のあまり狂いますが、往來の人に引き当たり狂いから覚めます。物を見るのは心で見るとから不自由は無いと達観はしても、やはり現実の生活はみじめに感じます。やがて夜が更けて父は名乗りかけ、俊徳丸は我が身を恥じて逃げようとしませんが父はその手を取り、二人連れ立って高安の里へ帰って行きます。

を触れさせます。一方、俊徳丸は悲しみのあまり盲目となり、弱法師とよばれる乞食となっており、杖をたどり天王寺へやってきました。彼は袖に散りかかる梅の花に心を留め、仏の慈悲を讃え、天王寺建立の縁起を物語ります。その姿を見るときまさしく我が子だが、通俊は人目をはばかり、夜にならぬ名乗ることにし、弱法師に日想観を拜むようにと勧めます。弱法師は入目を拝み、難波の美景を心に思い浮かべ、心眼に映える光景に恍惚となり興奮のあまり狂いますが、往來の人に引き当たり狂いから覚めます。物を見るのは心で見るとから不自由は無いと達観はしても、やはり現実の生活はみじめに感じます。やがて夜が更けて父は名乗りかけ、俊徳丸は我が身を恥じて逃げようとしませんが父はその手を取り、二人連れ立って高安の里へ帰って行きます。

2021年 6月19日(土)

午後2時00分開演
(1時30分開場)

10月22日(金)

午後7時00分開演
(6時30分開場)

◎前売開始：[6/19「弱法師」公演] 3/19(金)午前10時00分より
[10/22「小塩」公演] 7/22(木)午前10時00分より

◎料金(税込) [各公演共] S席(正面) 7,500円
A席(脇正面) 6,500円
B席(中正面) 5,500円
学生席(座敷・自由) 3,500円

※学生席は能楽堂のみにて取り扱います。購入の際に学生証の提示をお願いいたします。

●両公演同時購入の際、通し割引チケットあり。

※通し割引チケットに限り、3/19(金)[6/19「弱法師」公演発売日]より受け付けます。

※通し割引チケットはセルリアンタワー能楽堂のみ取り扱い。

◎チケット申し込み：

- ▶ Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999 (10:00-17:00)
▶ オンラインチケットMY Bunkamura https://my.bunkamura.co.jp
▶ Bunkamura チケットカウンター Bunkamura1F 正面入口右手 (10:00-18:00)
▶ 東急シアターオーブ チケットカウンター 渋谷ヒカリエ2F (11:00-18:00)
▶ セルリアンタワー能楽堂 03-3477-6412

※営業時間に変更になる可能性があります。ご了承ください。

※都合により公演の一部(出演者・曲目等)を変更する場合がございます。ご了承ください。

「渋谷駅」国道246号線沿いにそびえる超高層ビル「セルリアンタワー」の地下2階。

